

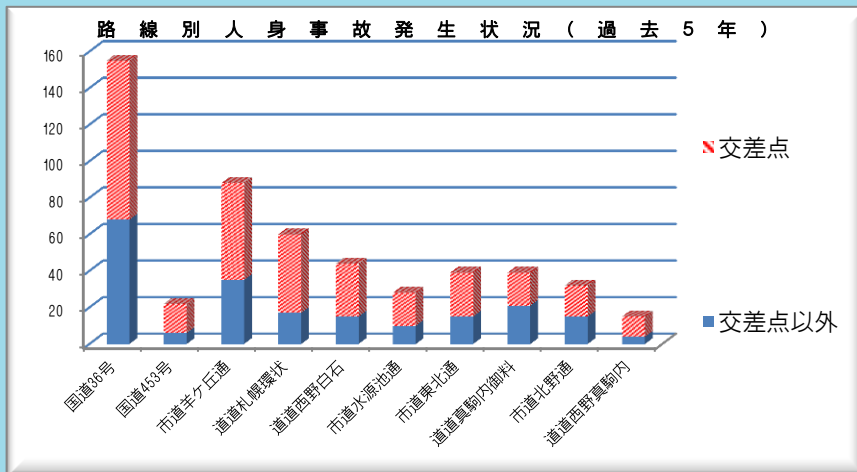
速度取締指針

豊平警察署の速度取締りの重点

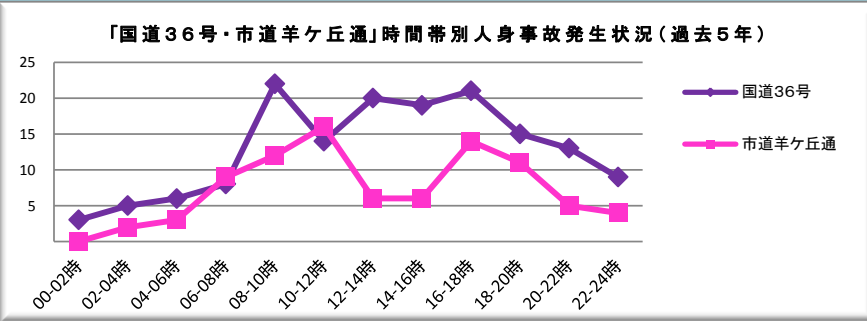
路線	時間帯	地域	規制速度
国道36号	8時～20時	市街地	指定速度(50km/h)
市道羊ヶ丘通	8時～20時	市街地	法定速度(60km/h)

重点以外の路線や時間帯であっても、必要に応じて取締りを実施します。

札幌方面豊平警察署管内の交通事故実態等



○ 過去5年(1～3月)の人身事故発生状況を路線別に比較すると、単一路線における事故総量及び交差点に起因する事故、交差点以外に起因する事故全てにおいて、国道36号での発生が最も多い。次いで市道羊ヶ丘通での発生が多い状況である。



○ 過去5年(1～3月)の時間帯別人身事故発生状況について、国道36号は朝の通勤時間帯に増加し、正午頃まで一旦減少する。その後、昼過ぎから帰宅時間帯まで事故が増加する傾向にある。市道羊ヶ丘通は、早朝6時頃から事故が増加し、正午頃にピークを迎える。その後、一度減少し、帰宅時間帯に再度増加する。

道路交通環境

- ◆ 豊平警察署管内の主要幹線道路は、北海道の大動脈である国道36号と清田区や北広島市の商業施設と繋がる片側3車線の市道羊ヶ丘通である。この2路線は曜日を問わず交通量が多く、それに伴い事故の発生が多い。
- ◆ 豊平警察署管内の郊外を通る路線は、道道真駒内御料札幌線があり、行楽シーズンは交通量が増え、それに伴い、実勢速度も上昇する。
- ◆ 豊平警察署の管轄区は、中央・南・白石・厚別区、北広島市と隣接しており、様々な目的の車が管轄区の国道・道道・市道を往来する。

～交通死亡事故発生状況～平成30年1月1日から12月31日現在

豊平警察署管内では死亡事故が4件発生しており、路線別では国道36号が1件、道道真駒内御料札幌線が1件、市道水源池通が2件発生している。

その他の交通指導取締りの要点

市街地における交差点違反、シートベルト違反等の取締りの強化、速度抑制のための警戒活動の強化

取締結果

- ◆ 平成30年中の豊平警察署管内における死亡事故は4件発生し、前年対比+1となっている。
- ◆ 平成30年中の豊平警察署管内における人身事故は640件発生し、前年対比-17となっている。